

※以下、私が審判になろうか悩んでいる時に現役審判の方々から教えていただいた内容です。参考にしてください。

【道具】

審判をなるにあたり、かなり沢山の道具（ユニホーム、防具、小物等）が必要となり、その購入費用もかなり掛かるイメージがあります。具体的にどのようなものを購入することになるか調べてみました。詳細については、次ページを参照願います。

なお、現役の方をはじめ、審判ご経験者の方から、道具を譲っていただく機会もあります。詳しくは、お近くにいる審判の方々にご相談してみてください。以下、現役審判の方からのアドバイスです。

- 半袖シャツ・・・私はその他のアイテムを含め、先輩審判員からお下がりを頂きました。
- 長袖シャツ・・・寒がりの方はあると良いかもしれませんが、最初は半袖か長袖のいずれか一つあれば良いと思います。
- スラックス・・・審判員学科試験の日に申し込みできます。
- ベルト・・・野球用ユニフォームで使っていた黒いベルトがあれば十分です。
- 帽子・・・つばの長さは「球審用」と「塁審用」の他に「兼用」というのがあります。恰好を気にする方は4種類購入していますが、JSBBマーク付きの「兼用」1つだけでも問題ありません。最初はこれだけで十分です。
- ジャンパー・・・これも審判員学科試験の日に申し込みます。あると便利、というかほぼ必須ですね。
- マスク・・・借りることも可能ですが、myマスクは持ってた方が良いでしょう。
- レガース・・・中学の球審をやる時があると安心ですが、最初からはいらないでしょう。
- ファウルカップ・・・これもあると安心ですが、私は持っていません。
- ファウルカップサポーター・・・ファウルカップを買う人はセットですね。
- つま先に鉄板入りのシューズ・・・中学の球審をやる可能性が出てきた時に購入すれば良いと思います。なお、高価なシューズを雨天の試合では履きたくないもの。それを考えると、ホームセンタで売っているものでも十分です。
- トレーニングシューズ・・・監督・コーチ時代に使っていた黒色のものがあればOKです。
- ハケ・・・長いものと短いものいずれかがあれば十分です。
- バッグ・・・私はゴルフ用バッグを流用しています。

【試験】

秋季大会のあたりで実地試験として3~4試合、経験を積み、その後、筆記試験。

筆記試験は、A4版数枚で選択方式。何点以下は不合格という閾値は無さそうであり、よほどのことがない限り不合格はない模様。競技者必携を何回か読んでおく必要はあります。

【費用】

「野球教則」と「競技者必携」（いわゆるルールブック）は、セットで1,500円（セット販売のみ）。

次年度版は、11月頃に申し込みがあり、河野審判部長から連絡があります。毎年、若干、変更があるようですが、古いものであれば審判部から譲ってもらう機会あり。試験を受けるための費用は不要。合格した場合は、胸に付けるバッジ代850円＋登録料2,500円。

（年度毎の更新制であり、本費用には「野球教則」と「競技者必携」代等を含む）

【審判の要請】

対象は、中学生・小学生の軟式野球。

市大会や各チームからの練習試合の要請については、全て河野審判部長が窓口となり、水曜日を目途に割り振られる。

各自の都合は、予め河野審判部長からの依頼に基づき申告。

審判の予定を割り振られた後に突発的な用事（仕事、家庭の事情等）が入った場合も、河野審判部長を通じて個別調整は十分可能。かなり融通を利かせてもらっているそうです。

【審判としての活動頻度】

個人的予定を入れない限り、シーズン中はほぼ毎週末という状況。

大会であれば1日3~4試合あるため、試合前のグランドづくり、試合後の片づけを考えるとほぼ早朝から日没まで。

練習試合であってもダブルヘッダーが基本であるため、ほぼ終日グランドにいる状態であることに変わりなし。

<補足> 前述した内容はガチでやる方の場合であり、あくまで基本は個人の自由です。土日のいずれか、または半日だけということも可能。他の用事や体調により月に1回だけということも。事前に河野審判部長へ伝えておけばOKです。

【交通費】

試合会場までの交通費は自費。あくまでボランティア活動。

【高校野球へのチャレンジ】

高校野球の審判を目指すには、年齢制限あり。資格取得の「バッジテスト」に50才までに合格する必要がある、そのバッジテスト受験までに3年間の実地講習を受講する期間が必要。バッジテストにストレートで合格できない場合のことを考えると、45才ぐらいまでには決断する必要があるそうです。ちなみに高校野球の硬式審判員は60才で定年。また、「神奈川県」としての登録となるため、活動範囲が県内全域となるため、それ相応の覚悟が必要。

審判用アイテム

H29.1.8
返町メモ

※「2016MIZUNOカタログ」より、価格は税抜き

※複数のタイプがある場合は最も格安なもの、もしくは一般的に使用されているものを選択

※下表「必要性」の凡例 ◎（必須） ○（あった方がよいもの） 無印（参考）

※下記以外にも団体として統一様式を購入しているものもあると想定

分類	名称	価格	必要性	右図 NO
ユニホーム	半袖シャツ	9,000円	◎	①
	長袖シャツ	5,700円		
	スラックス	12,000円	◎	②
	ベルト	2,000円	◎	
	帽子_1 (八角、ツバ短い、マーク有)	4,000円	◎	③
	帽子_2 (六角、ツバ長い、マーク有)	4,000円		④
	帽子_3 (マーク無、中学生の試合用)	4,000円		
	帽子_4 (その他)	4,000円		
	ジャンパー	12,000円	○	⑤
防具	マスク	7,900円	◎	⑥
	インナープロテクタ	17,000円	◎	⑦
	レガース	9,000円		⑧
	ファウルカップ	1,400円		⑨
	ファウルカップサポータ	2,800円		⑩
シューズ	つま先に鉄板入り	13,000円		⑪
	トレーニングシューズ	5,300円		
小物	ボール入れ (5球入れ)	4,000円	◎	⑫
	インジケータ (カウンタ)	800円	◎	⑬
	ハケ (短いタイプ)	750円	○	⑭
	ハケ (長いタイプ)	2,000円	○	⑮
	ハケ袋 (短いタイプ)	950円		⑯
	キャスターバック	12,000円		⑰



【価格の総額】 () 内は勝俣スポーツ2割引価格

上記全て 133,600円 (106,880円)

◎印のみ 56,700円 (45,360円)

◎+○印 71,450円 (57,160円)